

(1) 商工業、新規産業の振興

現状・課題

- 本市では他市町村に通勤・通学している市民が多く、主に名古屋市ベッドタウンとして発展してきた地域であると言えます。今後は、税収の確保や市内商工業の活性化、雇用環境の充実などを図るために、戦略的に市内雇用の創出を進めていく必要があります。
- 本市では愛知県企業庁と連携し「愛西佐織地区工業用地」を整備しました。また、南河田工業団地地区計画区域内において、事業所の新設を行う企業に対し奨励金により事業活動を支援します。
- 商業については、人口減少に伴う顧客減少による商業店舗の撤退や店主の高齢化等による廃業などが懸念されます。また、工業については住工混在に起因する課題が見られる地域もあり、計画的な誘導等が求められています。
- 近年では、環境、福祉、観光などの様々な地域社会の問題に対し、住民、NPO、企業など、様々な主体が協力しながらビジネスの手法を活用して解決に取り組むソーシャルビジネス^{※29}、コミュニティビジネス^{※30}に注目が集まっています。市内産業のより一層の活性化に向けて、意欲ある市民の起業などに対する支援も積極的に行っていく必要があります。
- 少子高齢化による生産年齢人口の減少などに代表される社会問題を背景に、多様な人材が生きがいを持って働くことができる環境が求められています。このような中、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が個性と能力を十分に発揮できる社会の実現に向けて、平成28年4月に「女性活躍推進法」が施行されました。女性の活躍促進に向けて、子育て期に離職した女性への再就職支援などを実施していく必要があります。

めざす姿

- 多様な人が生きがいを持って働くことができる環境となり、市内で安定した雇用が確保されている。
- 市内に優良な企業が誘致され、財源の確保や雇用機会の充実につながっている。

※29 ソーシャルビジネス

社会的課題の解決を図るための取組をビジネスの手法で取り組む事業のこと。

※30 コミュニティビジネス

地域資源を生かしながら、地域課題の解決をビジネスの手法で取り組む事業のこと。

主な取組

取組	内容
商工業の活性化促進 【産業振興課】	市内で事業活動を行う個人事業者や企業に対し、商工会や信用保証協会と連携してセミナーや個別相談などを通じて支援を行います。
若者、女性等の就労支援 【産業振興課】 【児童福祉課】 【健康推進課】 【市民協働課】	子育て世代の女性や地元の若者等に向けた就職や再就職セミナーの開催等の支援を行います。
企業誘致の推進 【企業誘致課】 【都市計画課】	愛西佐織地区工業用地への企業誘致を着実に進め、企業へは立地促進奨励金・雇用促進奨励金により事業活動を支援します。また、都市計画マスタープランの産業ゾーンでの新たな誘致計画や、その他の地域での企業誘致・誘導について検討を進めます。

指標

指標名	実績	中間年度 H33 (2021)	最終年度 H37 (2025)
工業団地に立地する企業数	—	5 企業	10 企業
工業団地内新規企業における新規地元雇用者数	—	60 人	120 人

関連する個別計画など

- ・創業支援事業計画
- ・愛西市男女共同参画プラン
- ・愛西市都市計画マスタープラン

創業を支援するネットワークづくり



愛西市商工会 × 産業振興課

市内の創業希望者に対する取組として、平成 29 年度から市と愛西市商工会の連携により創業・開業に関するセミナーや個別相談などを行っています。

創業前から創業 3 年程度の人を対象としていることから、創業・開業希望者の掘り起しや、開業率の向上、雇用促進などにつながっています。

市内の団体・事業者の協力による市民の健康づくり促進



「あいさい健康マイレージ事業」抽選特典協賛団体 × 健康推進課

平成 26 年度から、「あいさい健康マイレージ事業」との共同事業として、「あいさい健康マイレージ事業」をスタートしました。この事業は、健診の受診や健康につながる食事や運動の実践など健康づくりに取り組むことでポイント（マイレージ）を貯め、ポイントに応じて特典が受けられる事業です。

ポイントを達成した方への特典充実のため、市内の団体や事業所に依頼し、抽選特典としての賞品を提供してもらうことで市民の健康づくりを応援していただいています。

「あいさい健康マイレージ事業」は、抽選特典が参加者の目標となり、健康づくりの楽しみのひとつとして、取組を始めるきっかけや継続することにつながっています。

(2) 農業の振興

現状・課題

- 農業には食料を生産するという基本的な機能のほか、自然環境の保全、洪水や土砂崩れを防ぐ防災機能、美しい風景の形成など、多面的な機能があります。優良な農地は、次世代に引き継ぐ市の財産として保全していく必要があります。
- 農業従事者の高齢化や担い手不足の問題、担い手への農地の集積化などが全国的な課題となっています。本市においても農業従事者の数は減少の一途をたどっており、担い手の高齢化や後継者不足、これに伴う休耕地の増加などが課題となっています。
- 担い手の確保や新規就農者の育成・支援が求められる中、本市では意欲ある農業者（認定農業者等）を中心となる経営体と位置付け、それらの経営体への支援を行っています。また、農地の集積を行うなどして不耕作地の予防に取り組んでいます。
- 農産物に対しては、鮮度や安全性を求める消費者ニーズが高まっており、本市においても「愛西市ぐるぐる農産物^{※31}」ラベルによるPRなどを行っています。環境に配慮した農業の振興を図るとともに、大都市近郊という立地も生かしながら、生産者や流通事業者等と連携を深めつつ付加価値の高い農産物の生産を進めていく必要があります。

めざす姿

- 愛西市で農業を営む市民が安定かつ持続可能な農業経営を行えている。

主な取組

取組	内容
直売所の充実 【産業振興課】	消費者にとって新鮮で安心・安全な農産物を提供するため、関係機関等と連携し直売所の充実を図ります。また、より多くの集客を図るため駐車場スペースの確保を検討します。
農地の有効活用 【産業振興課】	市内の優良農地を確保・保全するとともに、担い手農家への利用集積を引き続き進めます。また、農地中間管理機構(農地バンク)や全国農地ナビを活用し、農地所有者と担い手農家を結びつけることで、不耕作地の発生を予防します。

※31 愛西市ぐるぐる農産物

愛知県が認定したエコファーマー等が、愛西市でつくったこだわりの農産物に付与しているもの。

取組	内容
小規模農家への支援 【産業振興課】	小規模でも意欲のある農業者に対し、愛西市産のブランド野菜である「愛西市ぐるぐる農産物」に参加していただくために必要な、愛知県知事が認定するエコファーマーの認定取得を積極的に支援します。
農業後継者の育成 【産業振興課】	農業の担い手の増加に向け、国・県の様々な施策を活用して新規就農者等を支援し、市内定住を希望する農業者に対しては空家情報等を提供します。
6次産業化の推進 【産業振興課】	愛西市産の農産物を活用した加工食品の開発により、愛西市を代表する新商品が生まれるよう、6次産業化を支援します。

指標

指標名	実績	中間年度 H33 (2021)	最終年度 H37 (2025)
新規就農者数（親元就農含む）	10人	24人	48人

関連する個別計画など

- ・愛西農業振興地域整備計画
- ・農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- ・愛西市 人・農地プラン
- ・愛西市6次産業化推進戦略

園児農業体験事業の実施



愛西市4Hクラブ × 産業振興課

地域で生まれ育った子どもたちに愛西市の主要産業である農業を身近に感じてもらうため、市内の青年農業者団体である「4Hクラブ」との連携により、農業体験事業を行っています。



農業体験事業では、愛西市が管理する実習田にて、さつまいもの苗植え・収穫の体験を行います。4Hクラブ会員が指導者となって、参加者である保育園児と一緒に交流しながら農作業を行っています。

活動を通じて子どもたちが農業や野菜などに親しむことができおり、未来の愛西市の農業発展につながっていくことが期待されます。

栽培技術を高める「愛西市ぐるぐる農産物」と「愛西市農畜産物品評会」



愛西市農畜産業振興会 × 産業振興課

愛西市産の農産物をブランド化し、市の基幹産業である農業を市内外、県外へ広くPRするため、平成25年度から愛西市農畜産業振興会と協力して「愛西市ぐるぐる農産物」を開始しました。



有機栽培、減農薬栽培等の環境に配慮したエコファーマー等の認定を持つ市内の農業者が生産した農産物に対して貼ることができる「愛西市ぐるぐる農産物」ラベルを作成し、愛西市産農産物の消費量の増加、農業の振興につなげています。

また、市内農業者の栽培技術の向上や研究意欲の高揚を図るため、愛西市農畜産業振興会が開催する「愛西市農畜産物品評会」に市が協賛し、出品された農産物を愛知県や、あいち海部農業協同組合が審査し、評価の高い農産物を栽培した農業者を表彰しています。

愛西市、愛西市農畜産業振興会、名古屋学芸大学との連携協力に関する協定締結



名古屋学芸大学(管理栄養学部管理栄養学科) × 健康推進課

愛西市オリジナル野菜の歌「届け！野菜の力」を制作し、野菜の摂取推進の取組を進める中で、愛西市健康日本 21 計画推進専門部会において具体的な野菜の食べ方を知らせていくことが必要であると意見が出ました。そこで、愛西市特産の野菜をPRすることによる野菜販売促進と健康づくりのための野菜摂取増加をねらいとし、

野菜の摂取が少ない世代へのアピールとして、管理栄養士をめざす学生に愛西市産の野菜を使用したレシピ集の作成を依頼しました。

名古屋学芸大学との連携のもとで、愛西市特産の野菜(季節ごとの3種類の野菜。春：三つ葉、キャベツ、大根 夏：ささげ、トマト、ピーマン 秋：れんこん、なす、カボチャ 冬：人参、ねぎ、白菜)を使用したレシピ集「カンタン朝食&アレンジレシピ」を作成し、大学、学生との連携のもとで啓発事業の展開等を図っています。



(3) 農業生産基盤の整備

現状・課題

- 本市では、これまで稲作や露地野菜を中心とした農業を振興してきましたが、近年では花きやイチゴ、トマトなどの施設園芸等も盛んになりつつあります。都市部に近接した立地条件を生かし、農業生産の新たな展開を図っていく必要があります。
- 生産者の減少や宅地開発等に伴う農地の減少など、農業生産環境の悪化が懸念されており、さらに近年では集中豪雨等による浸水被害、地盤沈下等による排水不良の増加などが見られるようになってきました。市民生活に密着した基幹産業である農業の安定的な生産に向け、生産基盤を維持していく必要があります。

めざす姿

- 農業用排水施設の計画的な整備や維持管理により、農業の生産性が向上し、安定的な農業生産ができている。

主な取組

取組	内容
農業用排水施設の整備 【土木課】	老朽化した農業用排水施設の更新等を行うとともに、費用や効果を踏まえた上で計画的な施設整備を行います。

指標

指標名	実績	中間年度 H33 (2021)	最終年度 H37 (2025)
農業用水管の更新延長	36.8km	127.6km	210.7km

地域で行う水路の浚渫(しゅんせつ)



農業生産者ほか × 土木課

「浚渫(しゅんせつ)」とは、水路底の土砂を掘取ることです。主に農地の浸水被害を防ぐために行われています。

農業用排水路の排水機能をより高め、農業の生産性を向上させることを目的に、農業生産者が行ってきましたが、最近では農業生産者以外の方の協力を得ながら行っています。

農業用排水路は防災の機能を持っていることから、地域ぐるみでの参加による活動の活性化が期待されます。



(4) 観光の振興

現状・課題

- 日本を訪れる外国人観光客数は右肩上がりが続けており、現在日本では国をあげて「観光立国の実現」がめざされています。国際的な観光競争力の高い国に向けて、魅力ある観光地の形成、観光産業の国際競争力の強化、地域の観光振興の推進役となる組織の形成などを促進しています。
- 人々の観光の楽しみ方は変化しており、従来の「観光資源を見て楽しむ」ことから、地域ならではの体験や地元住民との交流などを含めた「地域文化を観る・体験する」ことに価値が見出されています。
- 本市には尾張津島天王祭・朝祭（市江車）や蓮見の会などのイベント、船頭平閘門と観光船や道の駅「立田ふれあいの里」、豊富な農産物などの魅力的な観光資源があります。しかし、さらなる観光客の誘致に向けては、観光資源を広域的にとらえ、近隣市町村と相互の魅力を高め合うとともに補い合う取組が必要です。
- 観光振興は、観光客を招くことによる経済的な効果のみならず、地域住民の誇りの醸成やシティプロモーション^{※32}など、様々な効果が期待されます。多くの自治体が工夫を凝らした観光情報の発信を行う中、本市においても市内外のより多くの人に見てもらえる魅力ある情報の提供が必要となっています。

めざす姿

- 様々な媒体を活用した情報発信により、愛西市の魅力が市内外に伝わっている。
- 周辺市町村との連携のもとで、たくさんの人が訪れる魅力ある観光地となっている。

主な取組

取組	内容
市のPR 【秘書広報課】	市勢要覧やPR動画の作成（市のマスコットキャラクターの出演などによる相乗効果）などを行い、様々な媒体を活用して愛西市の魅力を市内外に発信します。
魅力ある観光資源の活用 【産業振興課】 【生涯学習課】	尾張津島天王祭・朝祭や蓮見の会などのイベントや道の駅等の本市固有の観光資源を活用し、観光協会と連携して観光ルートを設定します。

^{※32} シティプロモーション

まちの魅力を発見、発掘、創造し、さらに磨きあげ、まちが持つ様々な地域資源を市内外に発信することで、自らのまちの知名度や好感度を上げ、地域そのものを全国に売り込む活動のこと。

取組	内容
道の駅を核とした観光拠点の整備 【産業振興課】 【都市計画課】	美しいハス田や肥沃な農耕地、豊富な農産物をテーマとする観光地として、道の駅を核とした観光拠点を整備・強化して集客の基礎を築き、市の魅力を高めます。
広域連携による観光振興 【産業振興課】	国や近隣自治体と連携して、地域の魅力を生かしたインフラツーリズム ^{※33} の計画づくりや交流イベント等を企画、実施します。より多くの観光客を集客できるよう、内容の充実に努めます。

指標

指標名	実績	中間年度 H33 (2021)	最終年度 H37 (2025)
「道の駅」の来場者数	252,004 人	270,000 人	280,000 人

市民協働の取組例

愛西市に人を呼び込む観光事業



愛西市観光協会 × 産業振興課

愛西市の特産品である蓮根・花蓮をはじめとする自然資源や歴史的資源を観光に活用することは、まちの魅力づくり、活力づくりにつながります。愛西市の観光事業をより一層振興するため、平成 23 年度に愛西市観光協会が設立されました。



愛西市観光協会では、観光船の運航や観光展等への出展参加、「蓮見の会」、あいさいの日イベントの開催、マスコットキャラクター「あいさいさん」を活用したPR活動などを行っています。

様々な活動は、市民に地域の魅力を伝えることや、市外の人が愛西市を知るきっかけになっています。今後も、協働により地域ブランドの構築や近隣自治体と連携した活動など、広がりをもった魅力の発信が期待されます。

※33 インフラツーリズム

公共施設などの既存のインフラや土木景観を資源として実施する観光のこと。